



Illustrationen von Ran Arieli & Oliver Freudenreich

人数: 2 ~ 10 人  
 年齢: 5 才から  
 時間: 約 15 分  
 セット内容:  
 カード 110 枚 (→ P.8)

## ゲームのアイデア

色とりどりの動物が登場する楽しく賑やかなゲームです。プレイヤーは赤色以外のカードを出す時は、その動物の鳴き真似をし、ニワトリ以外の赤色の動物を出す時は、何も言わずにはいけません。「赤いニワトリ」を出す時は、『ココタキ!!』と叫びます。鳴き真似を忘れたり、間違ったりするとカードを2枚取らなければなりません。いち早く手札を、全て使い切ったプレイヤーが勝者です。

## ゲームの準備

最年長のプレイヤーがカードを裏向きでよく混ぜ、各プレイヤーに8枚ずつ配ります。残りは山札として机の中央に置きます。そして山札から一番上のカードを1枚めくり、表向きにしてその横に置きます。これが最初の場札となります。

## 基本ルール

ココタキはいくつかのルールがある、とてもおもしろいゲームです。初めて遊ぶ時や、小さなお子さんと一緒に遊ぶ時は慣れる為にまずは基本ルールから始めましょう。

この基本ルールをマスターできたら、中級、上級ルールでさらに楽しみましょう。

最年長のプレイヤーの左隣から始め、時計回りに順番を交代していきましょう。順番が来たら、場札と同じ色か同じ動物カードを手札の中から1枚選び、その動物の鳴き真似をしながら場札の上に表向きで重ねて置きます。

**注意:** カードを出す時は、必ずそのカードに描かれた動物の鳴き真似をしましょう。

カトリン ティム  
 リサ マックス

カトリン: モー!

マックスの順番です。場札は「緑の牛」なので、出せるカードは緑色か牛のカードです。マックスは「黄色の牛」を場札の上に「モー」と鳴き真似をしながら、重ねて置きます。

次のプレイヤーは新しい場札と同じ色か同じ動物カードを出さなければなりません。もちろん「黄色の牛」のように、同一のカードを出すこともできます。

カトリン ティム  
 リサ マックス

カトリン: メー!

リサは「黄色の羊」を場札の上に「メー」と鳴き真似をしながら、重ねて置きます。

**注意:** 赤い動物を出す時は、何も言わずにはいけません。

カトリン  
 リサ マックス ティム

カトリンは「赤い羊」を場札の上に何も言わずに、重ねて置きます。

**注意:** ただし、「赤いニワトリ」を出す時は『ココタキ!!』と叫ばなければなりません。

カトリン  
 リサ マックス ティム

カトリン: ココタキ!!

ティムは「赤いニワトリ」を場札の上に「ココタキ!!」と叫びながら、重ねて置きます。

まとめ:

- 「赤いニワトリ」の時は、『ココタキ!!』と叫ぶ。
  - 「ニワトリ」以外の赤色の動物の時は、何も言わない。
  - 赤以外の動物の時は、絵柄の動物の鳴き真似をする。
- 注意:** 「赤いニワトリ」の時は、『ココタキ!!』ですが、赤以外の「ニワトリ」の時は『コケコッコ』と鳴き真似をします。

「ちょうちょ」はラッキーカードです。「ちょうちょ」は何も言わずに、どのカードの上にも置くことができ、更に自分の希望する色を指定することができます。

カトリン ティム  
 リサ マックス

カトリン: 次は緑色です。

マックスの順番です。場札は「赤いニワトリ」なので、出せるカードは赤色かニワトリのカードですが、「ちょうちょ」を持っていたので、そのカードを出して、緑色を指定しました。次のプレイヤーのリサは、緑色の動物を出さなければなりません。

手札に出せるカードがない、あるいは出したくない場合は山札から1枚取らなければなりません。そのカードはその場で出すことはできません。そして次のプレイヤーと交代します。

**最重要:** 次の場合、ペナルティとしてすぐに山札から2枚取らなければなりません。

- 鳴き声を間違えた (例: 犬なのに『モー』と鳴く)。
- 鳴き真似を忘れた (例: 「緑の猫」の時に何も言わない)。
- 「赤いニワトリ」の時に『ココタキ!!』と言わなかった。
- ニワトリ以外の赤色の動物の時に何かの鳴き真似をした。

間違いに気付かれなかった場合は、カードを取る必要はありません。どのプレイヤーも間違いを指摘することはできませんが、必ず次のプレイヤーがカードを出す前に指摘しなければなりません。

手札が最後の1枚になったらすぐに『最後の1枚です。』と言いましょ。言い忘れた時も、すぐに山札から2枚取らなければなりません。

## ゲームの終了

一番早く手札を、全て使い切ったプレイヤーが勝者です。

**注意:** 最後のカードを出す時も、間違ってしまうとすぐに山札から2枚取らなければなりません。

## 中級ルール

下記のルールを付け加えるとさらに面白くなります。

**ニワトリカード:**  
 どの色のニワトリカードでも場に出すと、次のプレイヤーは1回休みとなります。

カトリン ティム  
 リサ マックス

カトリン: コケコッコ

リサは「青いニワトリ」を場札の上に「コケコッコ」と鳴き真似をしながら、重ねて置きます。次のカトリンは1回休みとなり、ティムの番になります。出せるカードは青色か「ニワトリ」です。

1回休みしなければならないのに、間違えてカードを出してしまったプレイヤーはペナルティとしてすぐに山札から2枚取り、出したカードも引き取らなければなりません。

**ロバカード:**  
 どの色のロバカードでも場に出すと、《ロバラウンド》が始まります。

出せるカードは「ロバ」のみになります。「ちょうちょ」を出すことも出来ません。「ロバ」を出せない場合は、場に出された「ロバ」の枚数分 (最初の1枚も含む) 山札からカードを取ります。この時点で《ロバラウンド》は終了し、次のプレイヤーの順番となり、通常ルールに戻ります。また最初に「ロバ」を出したプレイヤーに順番が回って来た時点でも《ロバラウンド》は終了し、通常ルールに戻りますが、もう一度「ロバ」を出すまで《ロバラウンド》が始まります。

## 上級ルール

最初の手札を8枚から10枚に変更します。これまで同様、場札と同じ色か同じ動物カードを出しますが、その際、同じ動物であれば色に関係なく何枚でも重ねて出せます。どのカードの場合もその動物の鳴き真似を枚数分しなければなりません (赤いカードのときは何も言いません)。

カトリン ティム  
 リサ マックス

カトリン: ニャー

ティムはまず「緑の猫」を出し、続けてもう2枚の猫を出しました。この時は3回「ニャー」と鳴かなければなりません。

**注意:** ニワトリカードを複数枚出した場合は、その枚数と同数のプレイヤーが1回休みとなります。

カトリン ティム  
 リサ マックス

カトリン: ココタキ!!

マックスは「黄色のニワトリ」1枚と「赤いニワトリ」1枚を出しました。彼はまず最初に「コケコッコ」と鳴き、続けて「ココタキ!!」と言います。リサとカトリンは1回休みとなり、次はティムの番です。

**ライオンカード:**  
 どの色のライオンカードでも場に出すと、順番が方向転換します。

時計回りに交代していた場合は、反時計回りになります。再度ライオンカードが出ると、また方向転換します。

**注意:** もし、あるプレイヤーが一度に2枚のライオンカードを出した場合は方向転換しません。つまり、偶数枚 (2枚、4枚等) の場合は今までのままで、奇数枚 (1枚、3枚等) の場合のみ方向転換します。

方向転換に気付かず順番を間違えてカードを出したプレイヤーは、これまでと同様ペナルティとしてすぐに山札から2枚取り、出したカードも引き取らなければなりません。

## セット内容

【6枚】【青/黄/緑:各2枚】 【赤/青/黄/緑:各2枚】  
 【赤/青/黄/緑:各4枚】 【2枚】